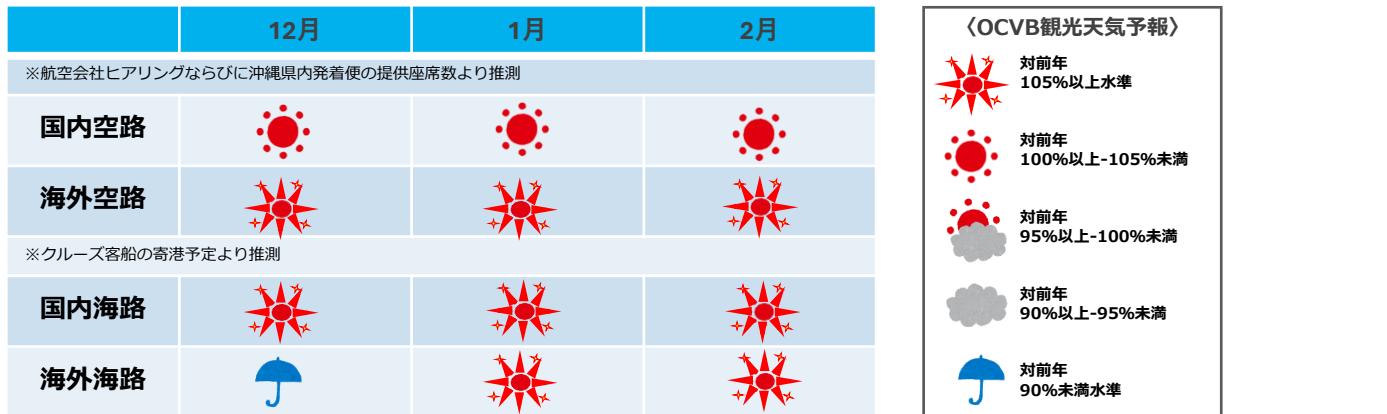


①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～11月実績、12月～2月見通し）



		9月(実績)	上期 計	10月(実績)	11月(実績)	12月(予測)	1月(予測)	2月(予測)	年度 計	12月-2月
2025年度	空路	国内 681,500	3,965,800	721,300	661,000	640,000	590,000	618,000	7,196,100	1,848,000
	海外	173,200	1,057,600	181,700	157,300	164,000	166,000	156,000	1,882,600	486,000
	合計	854,700	5,023,400	903,000	818,300	804,000	756,000	774,000	9,078,700	2,334,000
2025年度	海路	国内 4,200	29,200	3,600	1,800	2,300	2,000	5,100	44,000	9,400
	海外	89,700	482,600	79,200	74,400	66,000	83,000	68,000	853,200	217,000
	合計	93,900	511,800	82,800	76,200	68,300	85,000	73,100	897,200	226,400
空路海路合計		948,600	5,535,200	985,800	894,500	872,300	841,000	847,100	9,975,900	2,560,400
国内合計		685,700	3,995,000	724,900	662,800	642,300	592,000	623,100	7,240,100	1,857,400
海外合計		262,900	1,540,200	260,900	231,700	230,000	249,000	224,000	2,735,800	703,000

		国内	107.7%	104.1%	104.7%	104.5%	104.8%	104.4%	102.3%	94.4%	103.8%
前年比	空路	海外	138.1%	144.1%	146.8%	133.3%	125.3%	111.9%	119.7%	123.6%	118.7%
	合計	112.7%	110.6%	111.2%	109.0%	108.4%	106.0%	105.3%	99.3%	106.6%	106.6%
	海路	海外	262.5%	149.7%	61.0%	40.9%	127.8%	117.6%	255.0%	112.8%	170.9%
前年比	合計	129.5%	122.3%	111.1%	125.3%	91.1%	121.6%	156.5%	111.1%	118.2%	116.6%
	空路海路合計	114.2%	111.6%	111.2%	110.3%	106.8%	107.4%	108.4%	100.2%	107.5%	107.5%
	国内合計	108%	104%	104%	104%	105%	104%	103%	95%	104%	104%
海外合計		134%	136%	136%	133%	113%	115%	128%	119%	118%	118%

■概況

国内入域：

- 堅調な個人旅行需要に加え、旅行代理店による企画ツアーなどの団体旅行の需要も好調に推移している。
- また、年末年始は最大9連休と日並びがよく、とくに連休前半は好調に推移している。
- 那覇マラソンなどのスポーツイベントの開催に加え、1月はJリーグサッカーキャンプ、2月からはプロ野球キャンプが開催されるなど、旺盛な需要が見込まれる。
- 「MITSUI OCEAN FUJI」や大型クルーズ船「MSCベリッシマ」では、那覇発着のフライ&クルーズ商品が計画されており、県外から多くの利用者が訪れることが予想される。

海外入域：

- 空路は台湾、韓国仁川の需要が好調に推移している。12月には那覇＝シンガポール線の新規就航、台南＝那覇線のチャーター便が就航し、新たな需要拡大が期待されている。2月3日～台北＝那覇線の新規就航があり、2月末時点で台湾と沖縄を結ぶ便は週106便(19年度対比119%)まで充実する。
- 石垣/下地島発着の直行便は、台北や韓国仁川を中心に需要が堅調に推移している。2月12日～台北＝下地島線の運航再開、2月13日～台中＝下地島線の新規就航も予定されており、離島地域においても海外入域者数の増加が見込まれる。
- 海路は、台湾・香港発の海外クルーズを中心に堅調に推移している。
- 中国の渡航自粛要請に伴い、団体旅行やクルーズ船寄港のキャンセルなど影響が発生している。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～11月実績、12月～2月見通し）

12月

空路

(国内) 64万人 (24年12月対比 104.8%) と見込む。(海外) 16.4万人 (24年12月対比 125.3%) となる見通し。

シンガポール＝那覇路線

(新)スクート航空：12月15日～ 新規就航 (週3便 月水日)

台南＝那覇路線

(新)タイガーエア：12月25日～3月28日 定期チャーター便就航 (週2便 木日)

(国内) 2,300人 (24年12月対比 127.8%) の見通し。(海外) 6.6万人 (24年12月対比 90.2%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：15本 (24年12月：23本)

国内クルーズ：9本 (那覇発) すべて那覇発着のフライ&クルーズ

海外クルーズ：6本 (台湾/高雄・香港・中国/広州) 石垣港・平良港のみ寄港1本。

海路

1月

空路

(国内) 59万人 (25年1月対比 104.4%) と見込む。(海外) 16.6万人 (25年1月対比 111.9%) となる見通し。

海路

(国内) 2,000人 (25年1月対比 117.6%) となる見通し。(海外) 8.3万人 (25年1月対比 121.7%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：24本 (25年1月：23本)

国内クルーズ：10本 (那覇・横浜発) 那覇発着のフライ&クルーズ8本含む

海外クルーズ：14本 (台湾/基隆・高雄・香港・釜山・中国/天津・広州)

石垣港・平良港のみ寄港は2本。

2月

空路

(国内) 61.8万人 (25年2月対比 102.3%) と見込む。(海外) 15.6万人 (25年2月対比 119.7%) となる見通し。

台北＝那覇路線

(新)日本トランスオーシャン航空：2月3日～ 新規就航 (デイリー)

台北＝下地島路線

スターラックス航空：2月12日～3月26日 運航再開 (週2便 月木)

台中＝下地島路線

(新)スターラックス航空：2月13日～3月27日 新規就航 (週2便 火金)

海路

(国内) 5,100人 (25年2月対比 255%) となる見通し。(海外) 6.8万人 (25年2月対比 152.1%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：25本 (25年2月：15本)

国内クルーズ：1本 (東京発)

海外クルーズ：24本 (台湾/基隆・香港・中国/上海、広州) 石垣港・平良港のみ寄港は13本。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

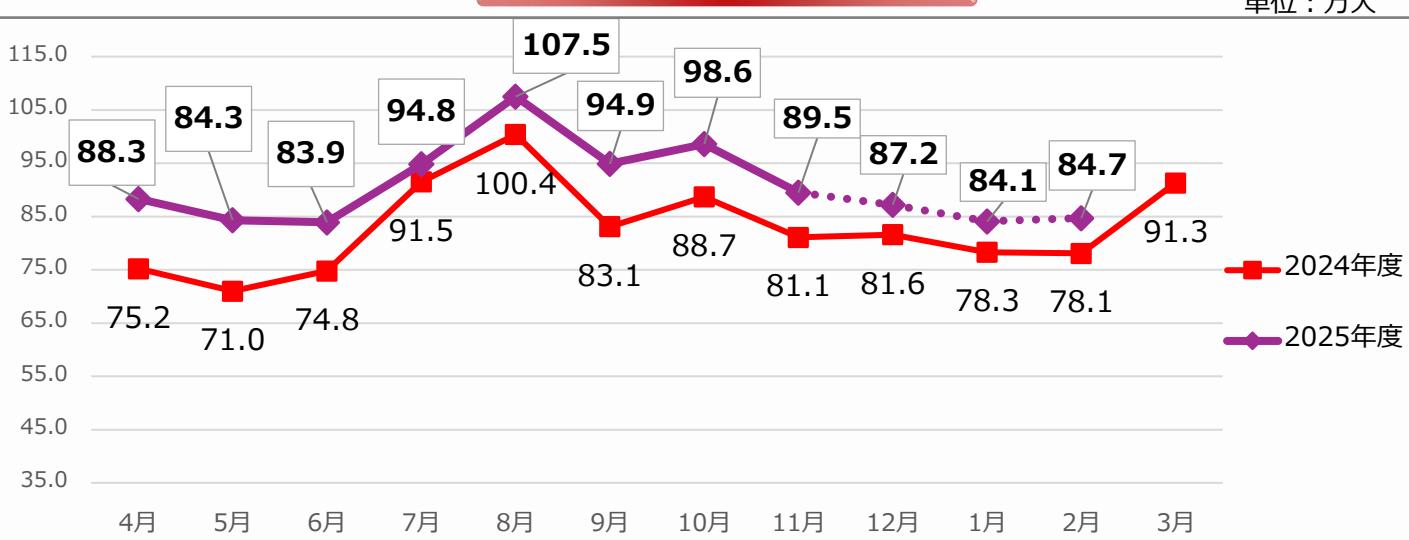
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況について

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客（合計）

単位：万人



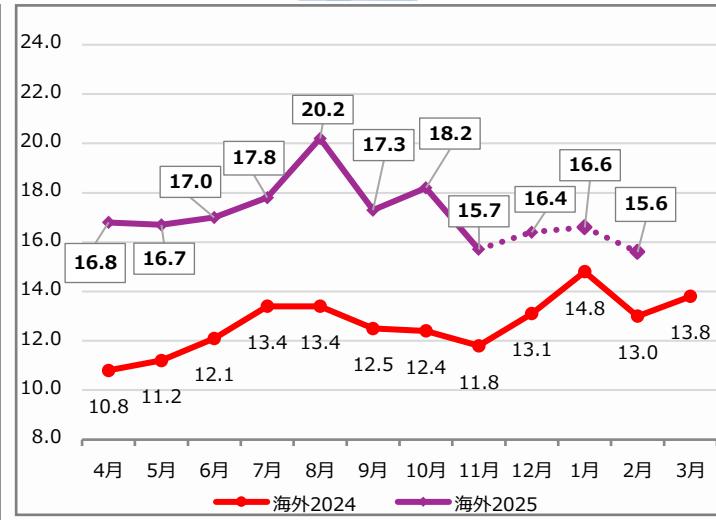
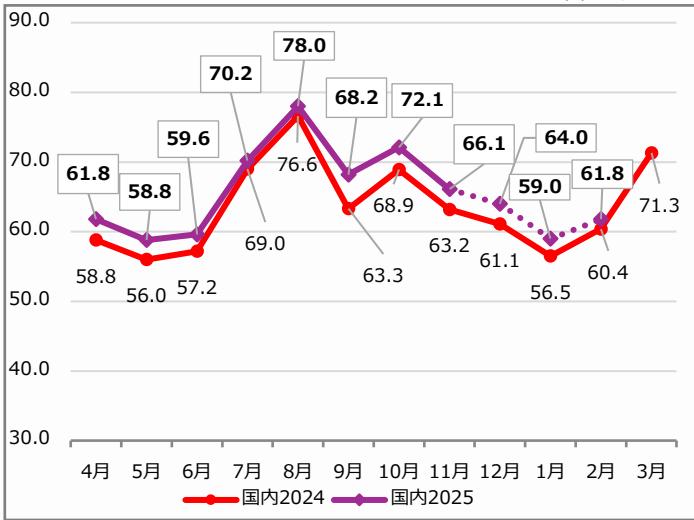
入域観光客（空路）

国内

単位：万人

海外

単位：万人



入域観光客（海路）

国内

単位：人

海外

単位：万人

